

2026 年度 小学校給食提供方法の変更

1. 小学校における給食提供方法の方針

- ・今後の児童生徒数の減少に伴い、共同調理場・給食センターや学校調理室等の給食調理施設の調理能力に余力が生じてくることを踏まえ、資産・資源を有効に活用する必要がある。
- ・垂水学校給食共同調理場は老朽化が進んでいるため、機能を第一・第二学校給食センターに集約のうえ、今年度末で業務を終了する。
- ・中学校の全員喫食移行後は、給食調理施設の状況等を踏まえ、順次、献立を統一していく方針としている。

2. 2026 年度の小学校給食提供方法の変更(2026 年4月～)

- ・給食提供方法の変更予定校

対象校	現在の提供元	変更後の提供元
西舞子小	垂水学校給食共同調理場	第一学校給食センター
高丸小・垂水小・霞ヶ丘小・舞子小・西脇小・神陵台小	垂水学校給食共同調理場	第二学校給食センター
港島学園(前期)※1	学校調理室(自校調理)	民間調理施設(ウオクニ㈱)
八多学園(前期・後期)※2	北学校給食共同調理場	第二学校給食センター

※1 港島学園(後期課程)はすでに民間調理施設から配送中。校舎改修に伴い前期課程も同じ方法に変更する。

※2 八多学園は食材調達や効率化の観点から提供方法を変更する。

- ・献立の変更内容

変更内容	現在	変更後
献立	小学校献立	中学校献立(摂取基準により栄養量を調整)
副食	2品(週1回程度3品)	3品
食器	おかずごとに1皿	中小おかず2品を1皿に配膳

(献立イメージ)



現在の給食



変更後の給食

3. 今後の展望

- ・将来の小学校給食提供のあり方については、児童数の推移や校舎の老朽化、調理施設の有効活用など、様々な観点から検討していく必要がある。
- ・検討にあたっては、学校給食委員会においても意見を伺いながら進めていく。